

赤い靴通信 423号

パソコンで「QRコード」と検索したら、「いまさら聞けないQRコード」というタイトルがでてきて、今更QRコードについて調べるなんて恥ずかしいと思われる事なのかこのタイトルにショックを受けました。私は今までスマホでQRコードを読み込んで、音声を聞いたり、動画や記事を見たりした事はありましたが、今回は別の理由でQRコードについて調べていました。

一昨年女優の五木路子さんが赤い靴のお芝居をフンドマークホールで公演しました。その時に日本にある「赤い靴像」建立の関係者たちが一番先に像を建てた横浜に集まり、舞台の鑑賞を兼ねて意見交換をしました。「赤い靴像」は北海道テレビの記者が書いた物語から生まれた東京六本木、静岡日本平、北海道留寿都・小樽・札幌と青森の鱒ヶ沢の像が各地にあります。横浜山下公園にある女の子像と私たちがアメリカ・サンディエゴにお贈りした「赤い靴はいた女の子像」は野口雨情の歌詞のイメージで創っています。「横浜の埠頭(はとば)から船にのって 異人さんのお国にいるだろう」のように実物がなくても詩人は自由な発想で美しい詩を描けるのです。アメリカの像は赤い靴ジュニアコーラスのユニフォームを着ている少女です。横浜にみえた各地の代表の方たちとは懐かしい友達に会ったよう。赤い靴のご縁をつなげて交流しましょうと約束し別れました。

ある日、日本一帯を担当している方から電話があり、公園全体をオリンピックスタジアムをデザインされた隈研吾に依頼し、素敵な公園になる、赤い靴の母子像も眺めの良い場所へ移転されることでした。この機会に「赤い靴」の歌をQRコードで聴けるようにしたので赤い靴ジュニアコーラスに歌を収録して欲しいとお願いがありました。私も赤い靴母子像の移転祝いの式典に招待されたのですが、私のスマホで読み取った歌を皆さんにお聴かせしました。その後大勢の観客が並んで「良いお土産ね」と嬉しそうに各々スマホに読み取って帰られました。

その事から横浜でも今年の女の子像の誕生日を目標にQRコードの入ったおしやれな案内板を立てたいと思い、インターネットでQRの作り方や使い方について調べてみました。QRコードは今やたらと普及してテレビのコーナーにも付いているし、菓の説明書にもあります。これを発明された方は日本の自動車部品メーカー「ダイソウ」の原昌広さんで特許は取ってあるが一般に自由につかってもらっているということでした。一丁発展のために素晴らしいお考えをオープンにし、発展を望んでいるのです。QRコード誰でも自由に利用する事ができるのですから、この技術を使って山下公園の女の子像を訪れた方達にその場で「赤い靴」を聴いてもらえたり、横浜土産として喜ばれたり、名詩名曲の童謡「赤い靴」の普及になることでしょう。

数年前100歳でお亡くなりになった三笠宮崇仁親王殿下は私と会いたいと申され、知り合いの金田一春彦先生から連絡があったので私もお会いしたかったと申しあげ、お会いした時「貴方は本当に良いことをしましたね、あの像がある限りこの歌は歌い継がれるし、横浜にも人が集まります。でも赤い靴の除幕式に行かれ



横浜市民子どもミュージカル
「横浜三塔ねご物語 2022」
 2022年8月6日(土) ①13時開演 ②17時開演
 会場: 関内ホール・小ホール
 料金 一般 2,500円 高校生以下 1,300円



第35期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会風景
 会場: 杉田劇場 写真撮影: 犬飼 裕一様

今後のスケジュール

洋風文化の流入口・発祥の地・横浜中區に集う！
 国際色豊かなジャンルのダンスチームが交流するダンスの祭典

2022.7.31(日)
 関内ホール(大ホール)

中区ダンスフェスティバル 16th

時間: 第1部 11:00 13:08
 第2部 14:00 17:14
 第3部 18:00 20:06

★8/6(土)・8/7(日)
 横浜市民子どもミュージカル
 「横浜三塔ねご物語 2022」
 会場: 関内ホール・小ホール
 公演は各日2回公演・全4回
 ※詳細は右上の案内をご覧ください

★8/19(金)
 「第16回東六忌」
 会場: 元町 霧笛楼
 演奏: 野中正
 ザ・シワクチャーズ横浜団員 他

なくて残念だった。」とおっしゃられました。宮様は子供の頃「童謡の宮様」と言われ多くの詩を書かれ、いくつかは赤い靴の作曲者の本居長世先生が作曲されたコードにもなったとのこと。宮様はさらに像のそばに立つと曲が流れるのもいいなと言われましたが、何か横浜では規制が有り難しいらしいと申しあげると、無理じゃなくそのうちいいものが出来るだろうと言われました。おかげ様で良いものが出来ました。やりましょう。現在この案内板の設置を横浜市に申請しています。さて、6月26日(日)第35期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会が杉田劇場で開催されました。コロナ禍の中で先生や団員たちも大変でしたが、よく頑張りました。今年の司会は大先輩のオペラ歌手の菅谷孝介さんでした。赤い靴の3期生です。東京音楽大学音楽専攻を卒業し、劇団四季研究所を経てミュージカルなど舞台で活躍中。彼のいた頃は120人の団員がいましたが、男子はそのうちの12人ほどでした。当時は男子だけのコーラスの発表の場もあり、横浜オラトリオ協会の代表が彼らの歌を絶賛し注目していました。その歌声を聞いたアメリカ人のアーティストからCD制作の依頼があったり、その思い出は多くの皆さんの記憶の中にあります。

さて、今年の定演は更に成長した素晴らしい歌声が私を感動させてくれました。私だけでなく周りの方も舞台上の団員の目にも光るものがありました。また今期で卒団する4名の団員の中には13年も通った団員もいます。「ONCE MEMBER LIFE MEMBER」(一度メンバーであった人は生涯のメンバーです)スタジオにはいつでも君たちの椅子があるよ！

さて、コロナ禍の第七波が感染者が増えています。7月31日には「中区ダンスフェスティバル」が関内大ホールで開催されます。

そして8月6日・7日は横浜市民子どもミュージカル「横浜三塔ねご物語2022」が関内小ホールにて4回公演をいたします。28名の子どもたちの舞台稽古は素晴らしい仕上がりです。全員が無事に本番を迎えられるよう願っています。

2022年6月30日 団長 松永 春